

## 中央・新旭川まちづくり推進協議会 会議録 令和5年度第1回

会議概要	
日時	令和5年6月28日(水曜日) 午後6時から午後7時40分まで
場所	新旭川公民館 2階 講堂
出席者	委員 (10名, 正副会長以外は50音順) 山田会長, 中村副会長, 石橋委員, 伊藤委員, 蔭山委員, 久保委員, 三本松委員, 鈴木委員, 素野委員, 十川委員 (欠席者 今井委員, 上野委員, 大久保委員, 桜木委員, 佐藤委員, 高橋委員, 谷越委員, 蔦原委員, 本多委員, 山岡委員) オブザーバー 旭川市立大学経済学部 黒川教授, 黒川ゼミ 久保田氏, 村谷氏 旭川市地域まるごと支援員 菊地支援員 事務局等 地域活動推進課 岩崎次長, 小松主幹, 谷口補佐, 浅沼 新旭川公民館 泉館長
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 中央・新旭川まちづくり推進プログラム
	資料2 令和4年度 中央・新旭川地域の補助事業 (実施結果)
	資料3 令和5年度 中央・新旭川地域の補助事業 (想定)

(補足)「中央・新旭川まちづくり推進協議会」を以下「協議会」という。

### 議事の内容

#### 1 開会

冒頭に, 市の担当者から, 市政情報の説明があった。

出席委員の確認, オブザーバー出席者の紹介, 事務局職員の紹介を行った。

## 2 中央・新旭川地域のまちづくりの検討と推進について

### (1) 中央・新旭川まちづくり推進プログラムの確定

事務局から、資料 1 について説明を受け、推進プログラムの完成について確認した。

### (2) 中央・新旭川地域の補助事業

#### ア 令和 4 年度事業

事務局から、資料 2 のとおり「新旭川地区子ども見守り活動」「地域居場所づくり推進事業」「知新っ子見守り事業」の 3 事業の完了について報告があった。

#### イ 令和 5 年度事業

事務局から、資料 3 のとおり今年度実施予定の事業について説明があった。各事業の進捗状況については、次回以降、随時報告を受けることとなった。

### (3) 地域における課題と取組の検討について

前回の協議会で、地域課題とその解決に向けた取組について意見交換を行い、様々な意見が出されたことから、今回も引き続き自由なテーマで意見交換を行うこととした。

意見交換を行った結果、今後は、子どもたちと地域とのふれ合いに関することを中心に検討することとなった。

意見交換における主な内容は次のとおり。

- ・先日、別の地域に住んでいる友人からの連絡を受け、地域の花壇整備を手伝いに行ってきた。これまでは町内会で整備をしていたというが、高齢化などにより徐々に作業ができなくなってきたということである。作業には、しばらく時間を要したが、きれいな花壇に仕上げることができた。一人だけではできないことでも、みんなでやればなんとかなる。一緒に作業した達成感、ある種の喜びのような感覚があった。
- ・大成地区の A S O B I ～ B A（北彩都子ども活動センター）では、小・中学生が遊んでいるが、子ども同士が揉めることがあるようで、気になる。本当はここで勉強を見てあげたりできると良いと思っているが、自分も仕事があり、なかなか腰が上がらない。週に何回か地域の大人、退職した先生などが継続的に子どもたちを見てあげられるようになれば良いと思う。
- ・A S O B I ～ B A（北彩都子ども活動センター）には、高校生や大学生に関わってもらってはどうか。子どもの時は年上の言うことをよく聞く。反対に高校生や大学生も年下の子ども

の面倒を見る機会は少ないと思うので、お互いに社会勉強になるのではないかと。

- ・地域での青少年の見守りに関して、町内にある公園は町内で見回り、何かあれば市民委員会と学校で連絡し連携をとっている。例えば金星公園では、夏休み期間中は地域の大人たちにより見守り隊が結成されており、概ね 15 時から 17 時までの間、交代で見守り活動を行っている。このように、地域が一緒になって子どもたちを見守るという取組は大切である。
- ・子どもたちと地域の触れ合いの機会を設けるには、お祭りみたいな楽しいことをやらないと、なかなか人が集まらない。お祭りを開催するにはお金と労力がかかるが、それをやり続けなければ、関係性は保てない。
- ・もっと地域との触れあい、お祭りだとか、いろんなことを地域で一つでも、子どものために考えられると良いのではないかと。
- ・先日の常磐公園で行われたお祭りには、ずいぶんと子どもたちが出ていた。
- ・お祭りに関して、これまで、15丁目の商店街や3条通の露店を長年続けてきたが、高齢化やごみの問題などがあり、維持することができなかった。
- ・まちの中心部が過疎になっているのは、これまでどんどん郊外へ広げていった結果で、今になって困っている。昔は優良な田畑だったと思うが、そこを住宅地として造成してしまった。
- ・高齢者の中には、移動手段がない人も多いので、できればその辺のことも一緒に考えられると良いと思う。
- ・この地域の特徴としては、石狩川のほか複数の川の合流地点となっている。旭川は災害が少ないが、最近の大雨を見ると洪水が発生しないとも言い切れないので、雨対策の勉強会などを検討しても良いと思う。
- ・堤防の高さを水が超えてくるということは、2階まで水が来てしまうところがある。旭川でも屋根の上で助けを求めるといったことがあるかもしれない。
- ・新旭川地区では、河川事務所と市の防災課の協力を得て、講義をしてもらった。洪水が起こらないように、上流の大きなダムによる水量調節など、様々な対策が行われていることを学んだ。それでも、もしも石狩川が氾濫するとなれば、橋を渡って4条通19丁目、20丁目などの標高の高い場所へ逃げるしかない。

### 3 その他

#### (1) 次回の協議会について

次回の協議会は、あらためて日程を案内することとなった。

### 4 閉会